

# 景況

レポート  
2024年7~9月期調査

## 景気動向の概況

業況DIは  
前期比3.3ポイントプラス

今回のアンケート調査は、全国的な猛暑や台風といった季節的要因に加え、地震の発生などの影響を受けるなかでの実施となりましたが、今期の全業種業況DIは▲8.9の前期比3.3ポイントプラスとなり、全体の業況判断としてはやや改善となりました。好調なインバウンド需要に加え、自然災害に備えた食品備蓄や防災関連用品の需要拡大なども影響したものと思われます。今後についてはプラス要因として、継続的な賃金引き上げによる個人消費の拡大、企業においては、IT関連の投資需要の増加が見込まれます。一方、マイナス要因としては、物流コストの増加や慢性的な人手不足などがあります。全体的には緩やかな回復基調にあると思われますが、米大統領選の行方などの政治的要因や、市場金利や為替レートの推移などについては今後も注目していく必要があります。

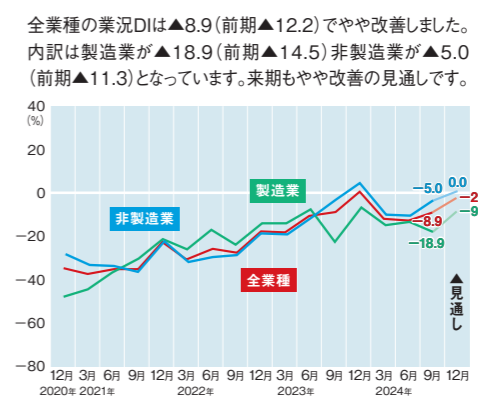
調査要領	合計			小売業			不動産業			サービス業		
	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率
	1596社	450社	28.2%	253社	61社	24.1%	119社	34社	28.6%	292社	71社	24.3%
	357社	127社	35.6%	287社	85社	29.6%	288社	72社	25.0%			

調査時点/2024年8月15日~9月5日  
調査依頼先/当庫取引先  
調査方法/郵送調査  
調査対象期間/[今期]2024年7月~9月  
[前期]2024年4月~6月  
[来期]2024年10月~12月  
分析方法/「増加」(上昇)したと企業のある構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。  
※DI: Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

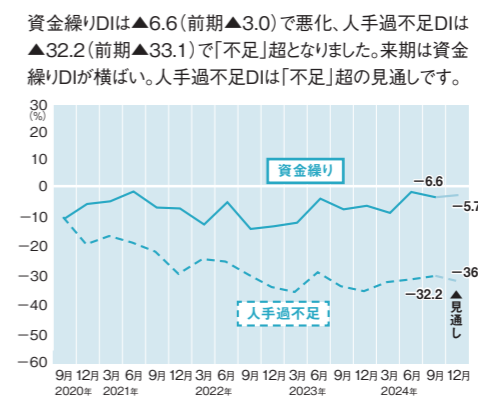
## 全業種総合DI

業況はやや改善、  
来期もやや改善の見通し

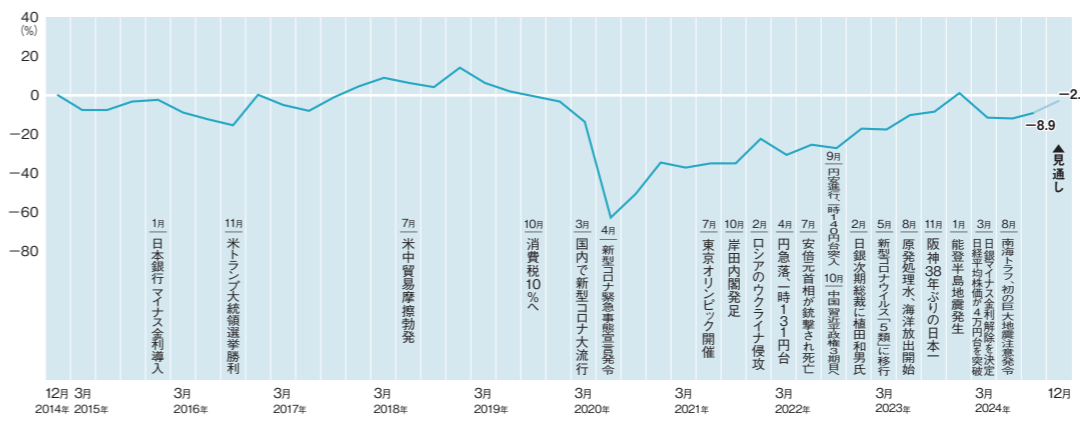
### 業況DIの推移



### 資金繰りDI: 人手過不足DI



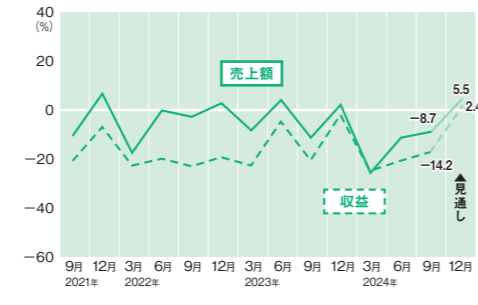
### 10年間の推移(業況DI)



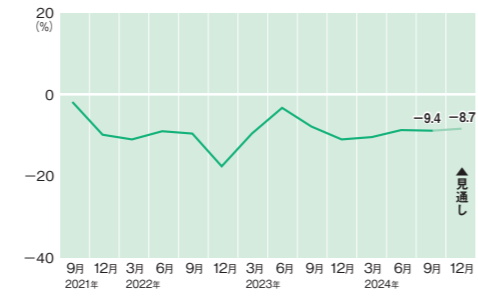
前期  
今期  
見通し

## 製造業

### 売上額・収益DI(前期比)



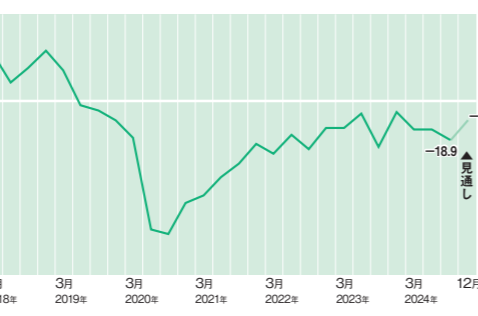
### 資金繰りDI



業況は悪化、  
来期はやや改善の見通し

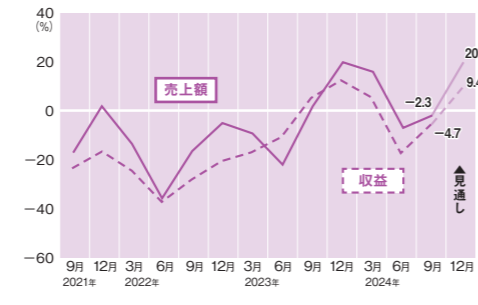
前期  
今期  
見通し

### 10年間の推移(業況DI)

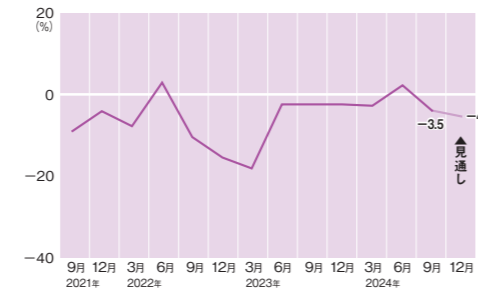


## 建設業

### 売上額・収益DI(前期比)



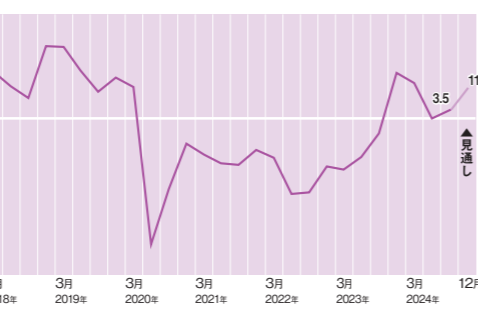
### 資金繰りDI



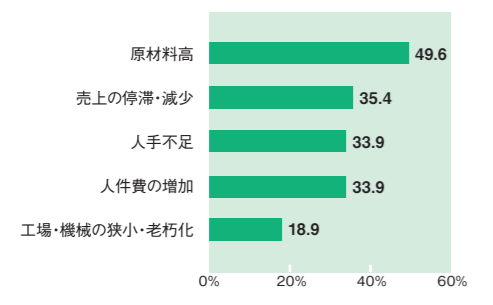
業況はやや改善、  
来期もやや改善の見通し

前期  
今期  
見通し

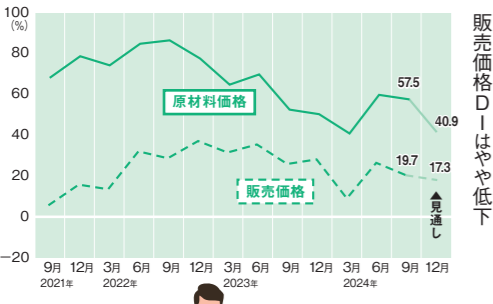
### 10年間の推移(業況DI)



### 経営上の問題点



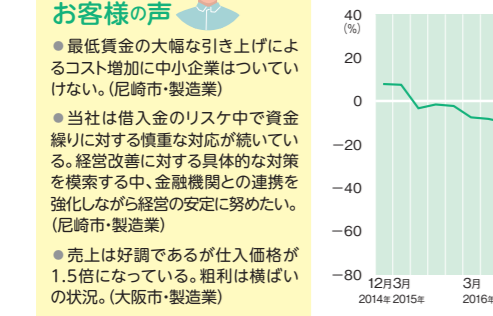
### 価格DI



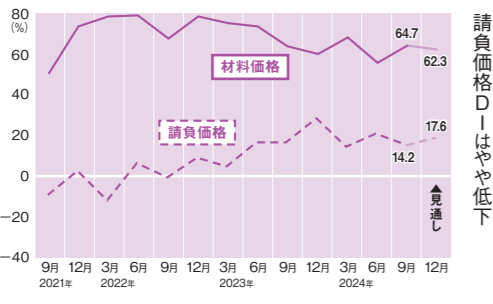
#### お客様の声

- 最低賃金の大幅な引き上げによるコスト増加に中小企業はついていけない。(尼崎市・製造業)
- 当社は借入金のリスク中で資金繰りに対する慎重な対応が続いている。経営改善に対する具体的な対策を模索する中、金融機関との連携を強化しながら経営の安定に努めたい。(尼崎市・製造業)
- 売上は好調であるが仕入価格が1.5倍になっている。粗利は横ばいの状況。(大阪市・製造業)

### 経営上の問題点



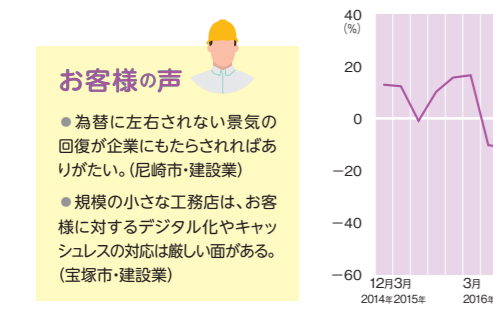
### 価格DI



#### お客様の声

- 為替に左右されない景気回復が企業にもたらされればありがたい。(尼崎市・建設業)
- 規模の小さな工務店は、お客様に対するデジタル化やキャッシュレスの対応は厳しい面がある。(宝塚市・建設業)

### 10年間の推移(業況DI)





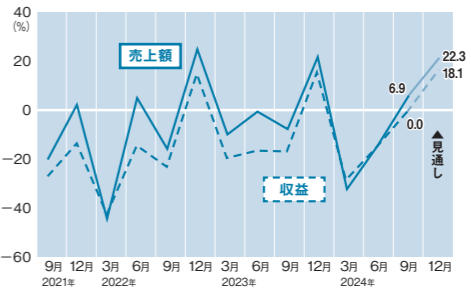
# 卸売業

業況は大幅に改善、  
来期はやや改善の見通し



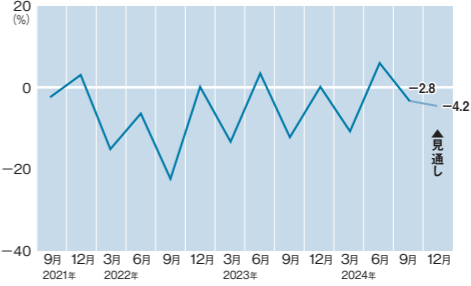
## 売上額・収益D-I(前期比)

売上額D-Iは大幅に改善、  
収益D-Iも大幅に改善



## 資金繰りD-I

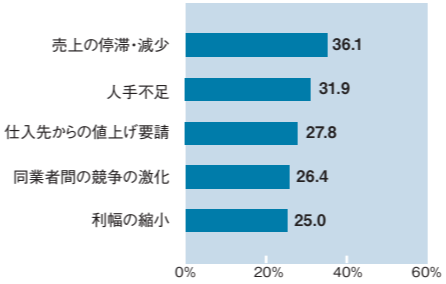
資金繰りD-Iは悪化



## 10年間の推移(業況D-I)

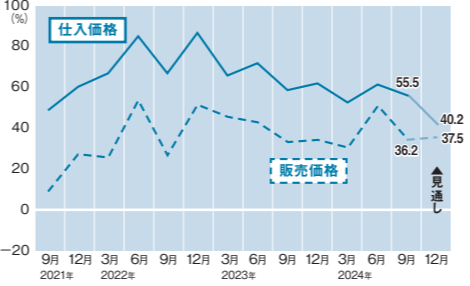
## 経営上の問題点

売上の停滞・減少に加え、  
人手不足が課題



## 価格D-I

仕入価格D-Iはやや低下、  
販売価格D-Iは大幅に低下



## お客様の声

- ここ数年で時代の変化をいろいろなシーンで感じる。時代に適した商売を考えながら経営に活かしていきたい。(尼崎市・卸売業)
- ペット用品の卸売業であるが、売上は厳しい。(芦屋市・卸売業)



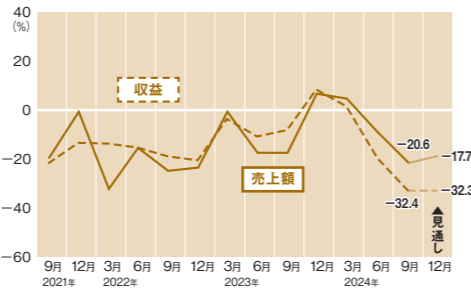
# 不動産業

業況は横ばい、  
来期はほぼ横ばいの見通し



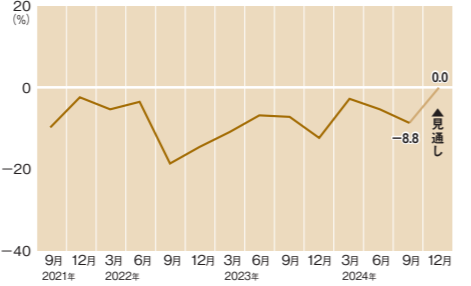
## 売上額・収益D-I(前期比)

売上額D-Iは悪化、  
収益D-Iも悪化



## 資金繰りD-I

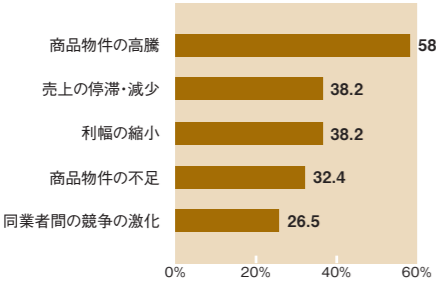
資金繰りD-Iは悪化



## 10年間の推移(業況D-I)

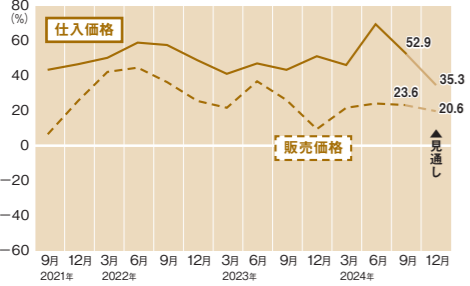
## 経営上の問題点

商品物件の高騰が一番の課題



## 価格D-I

仕入価格D-Iは大幅に低下、  
販売価格D-Iは横ばい



## 10年間の推移(業況D-I)



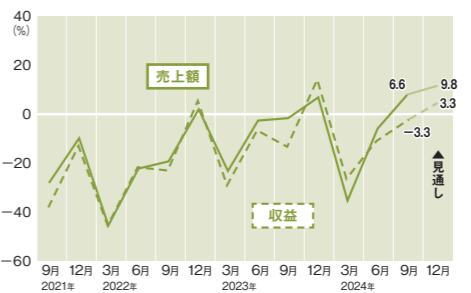
# 小売業

業況は改善、  
来期は横ばいの見通し



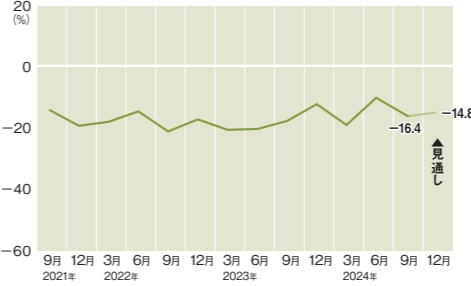
## 売上額・収益D-I(前期比)

売上額D-Iは改善、  
収益D-Iはやや改善



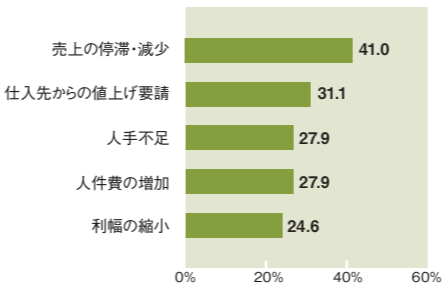
## 資金繰りD-I

資金繰りD-Iは悪化



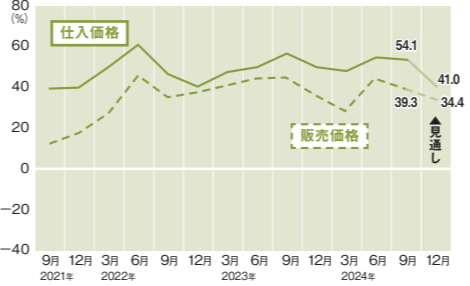
## 経営上の問題点

売上の停滞・減少に加え、  
原材料高が課題



## 価格D-I

仕入価格D-Iは横ばい、  
販売価格D-Iはやや低下



## お客様の声

- 為替が円安のため、生産地シフトによるコスト削減が予定通り進んでいない。生産数量の削減などに対応している。(大阪市・小売業)
- コメが品薄で流通がストップしている。季節の変わり目で販売する商材がないのがつらいところ。(宝塚市・小売業)



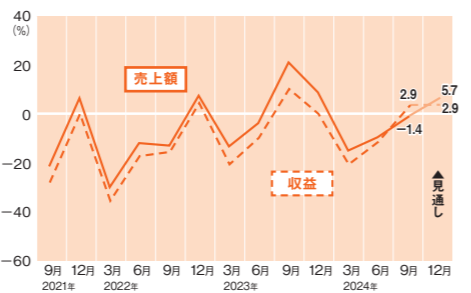
# サービス業

業況は悪化、  
来期はやや改善の見通し



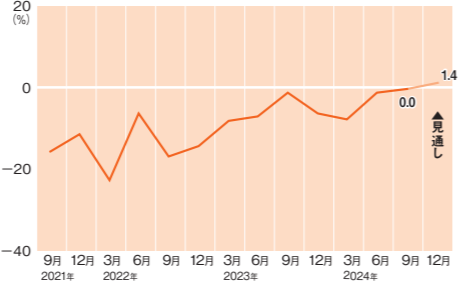
## 売上額・収益D-I(前期比)

売上額D-Iはやや改善、  
収益D-Iは改善



## 資金繰りD-I

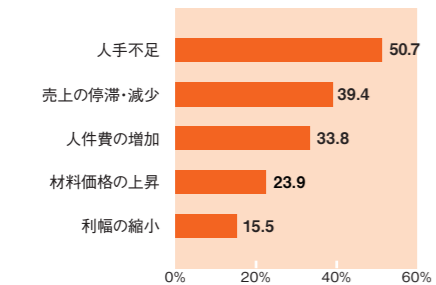
資金繰りD-Iは横ばい



## 10年間の推移(業況D-I)

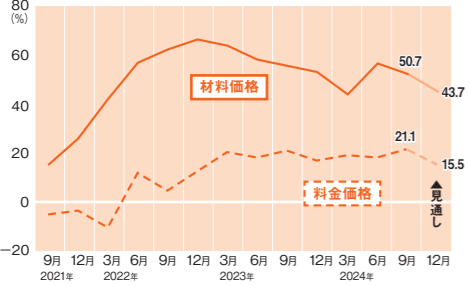
## 経営上の問題点

人手不足に加え、  
売上の停滞・減少が課題



## 価格D-I

材料価格D-Iはやや低下、  
料金価格D-Iはほぼ横ばい



## 10年間の推移(業況D-I)

## お客様の声

- 日本経済が衰退する一方で最低賃金が上がり苦しい状況が続いている。国が支援しない限り中小企業は厳しい状況が続くと予測される。(尼崎市・飲食業)

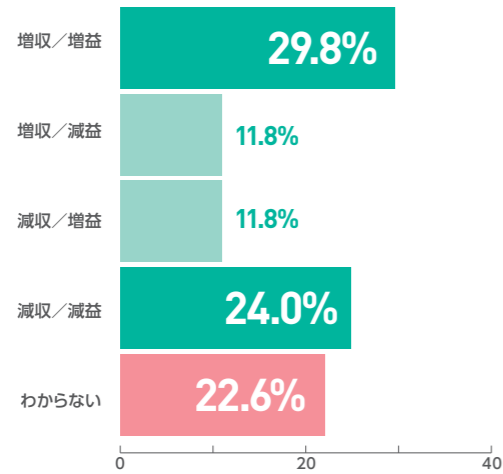
# 特別調査 2

## 貴社の今期(2024年)の見通し、経営課題について

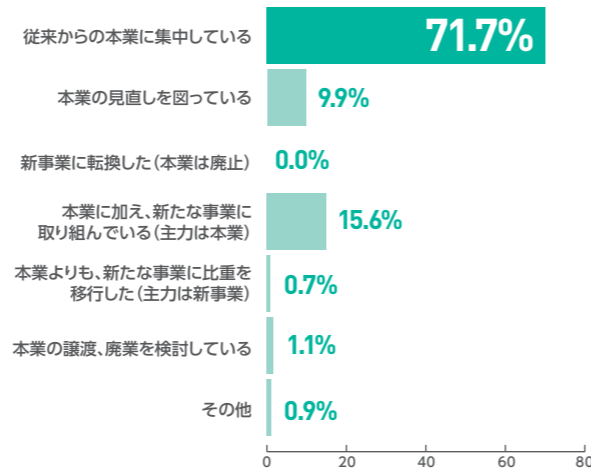
原材料価格の高止まりなどマイナス要因が中小企業の経営を圧迫する一方で、インバウンド需要の回復や賃上げ実施による消費マインドの改善などプラス要因もでてきています。このような、経営の舵取りが非常に難しい状況の中、貴社では様々な対策をされていると思います。今回、貴社の今期の見通し、抱えている課題などについてアンケート調査を行いますので、ご協力お願いいたします。

調査時期/2024年8月15日~9月5日 調査対象企業数/1596社 有効回答数/433社 有効回答率/27.1% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

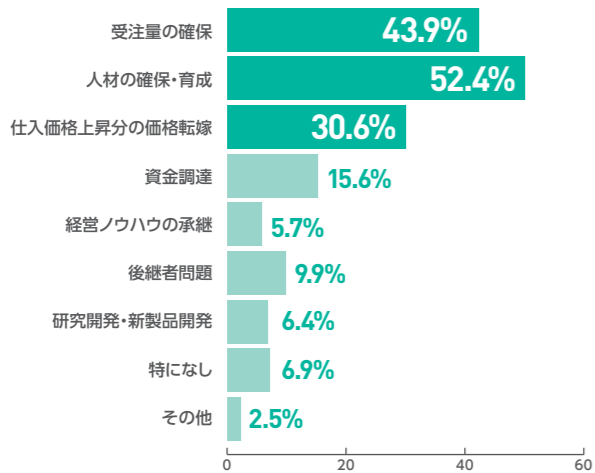
### Q1 貴社の今期決算予想(対前年比較)をお聞きます。 ※1つ選択



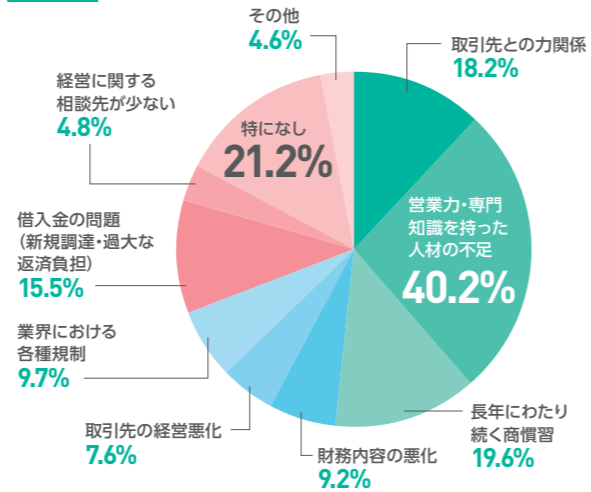
### Q2 貴社は今期どのような取り組み(予定を含む)を行っていますか。 ※1つ選択



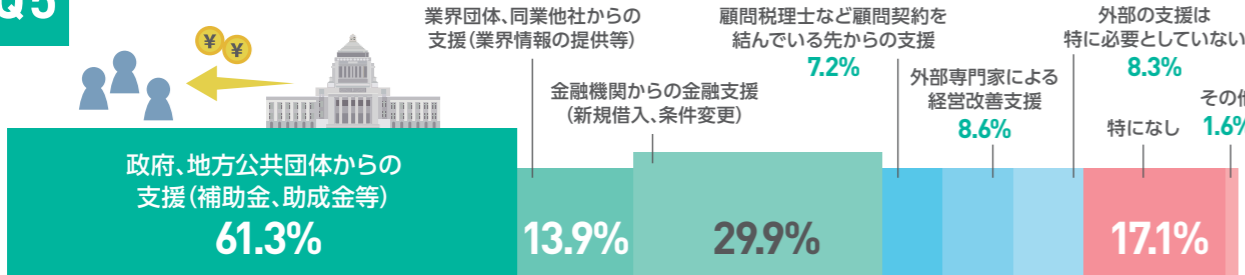
### Q3 貴社が直面する現在の経営上の課題は何ですか。 ※最大2つ選択



### Q4 貴社が経営上の課題を解決する際に阻害要因となるものは何ですか。 ※最大2つ選択



### Q5 中小企業の経営を取り巻く環境が厳しい中、どのような支援サービスを期待しますか。 ※最大2つ選択



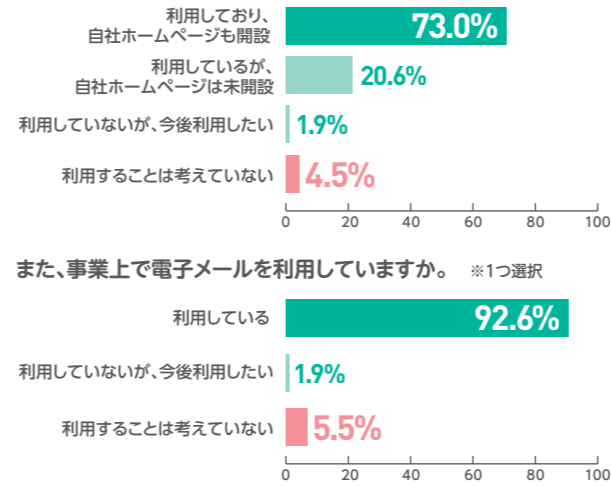
# 特別調査 1

## 中小企業におけるデジタル化とキャッシュレスへの対応について

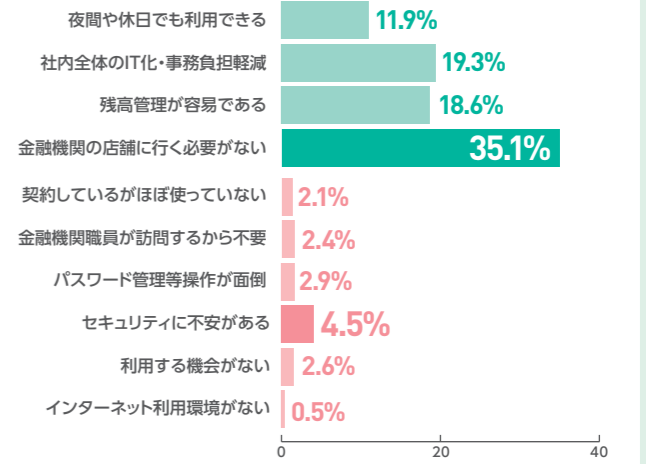
急速に進化するデジタル技術やキャッシュレス決済は、事業の効率化や競争力の向上に寄与するとされています。特に中小企業においては、これらの導入が経営の安定や成長に大きな影響を与えると考えられています。しかしながら、実際の導入状況や課題、またそれに対する考え方は企業ごとに異なるものと思われます。今回は中小企業における、デジタル化やキャッシュレス化の現状についてアンケートを実施いたしました。

調査時期/2024年8月15日~9月5日 調査対象企業数/1596社 有効回答数/422社 有効回答率/26.4% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

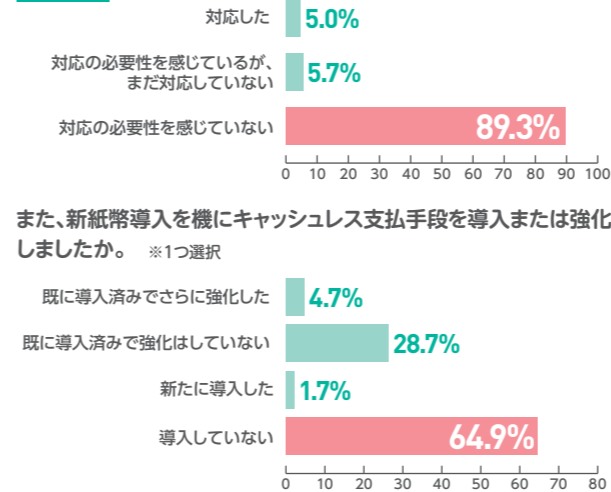
### Q1 貴社では、事業上の情報収集・情報発信等において、パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用していますか。 ※1つ選択



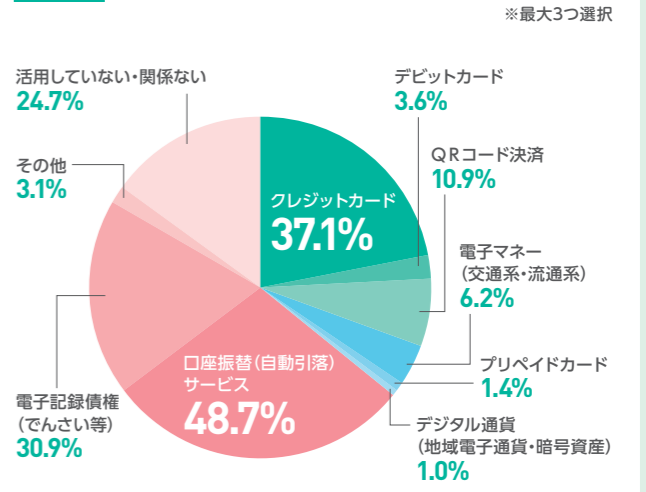
### Q2 貴社ではインターネットバンキングを利用していますか。契約している方は契約している主な理由を、契約していない方は契約していない主な理由をお答えください。 ※1つ選択



### Q3 7月に実施された新紙幣の発行に伴い、貴社では何らかの対応(設備投資など)を実施しましたか。 ※1つ選択



### Q4 取引先や顧客との決済にあたって、現在、どのようなキャッシュレス支払手段を活用していますか。主に活用しているキャッシュレス支払手段をお答えください。 ※最大3つ選択



### Q5 Q4で挙げたキャッシュレス支払手段について、導入している方は感じている不満を、導入していない方は導入していない理由をお答えください。 ※最大3つ選択

